

岐阜市北部地区産業廃棄物不法投棄事案に係る消火等支障除去事業に関する技術専門会議

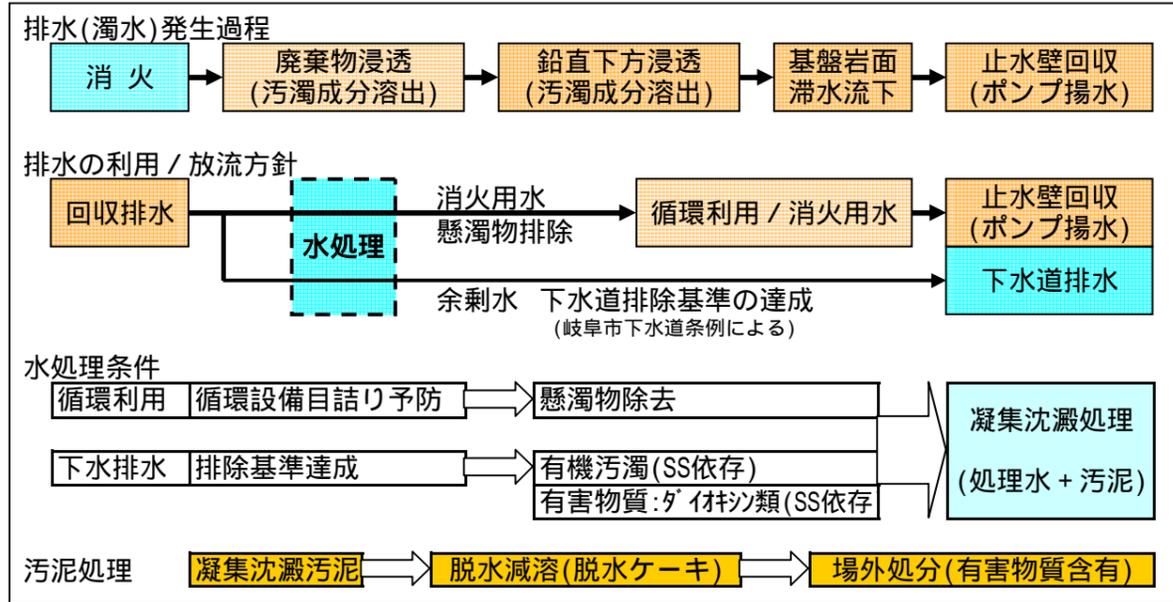
第3回会議 配布資料(その3)

資料3 : 全体対策工の未討議事項について

- | | | |
|----------|--------------------|------------|
| 資料 3 - 1 | : 濁水処理対策工比較検討案 | ・・・(p 5) |
| 資料 3 - 2 | : ダイオキシン類の汚染領域の考え方 | ・・・(p 6) |
| 資料 3 - 3 | : モニタリング計画案 | ・・・(p 7) |

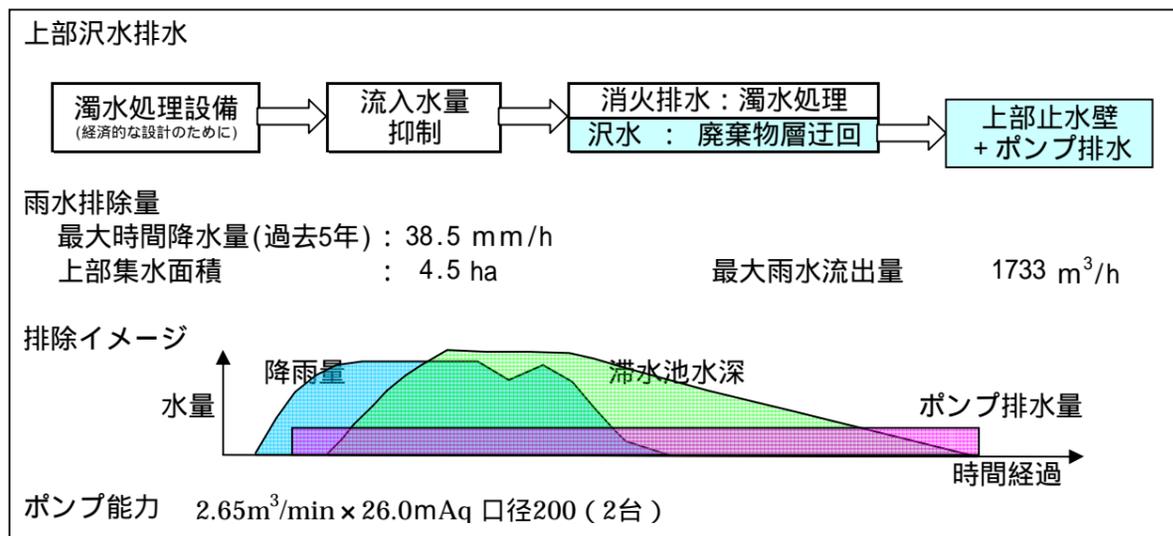
平成19年9月14日

岐阜市環境事業部産業廃棄物特別対策室

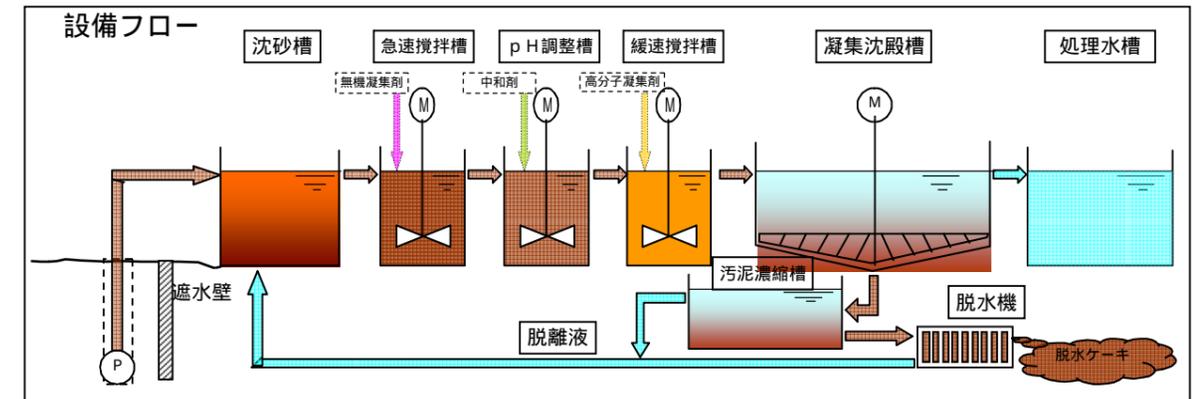
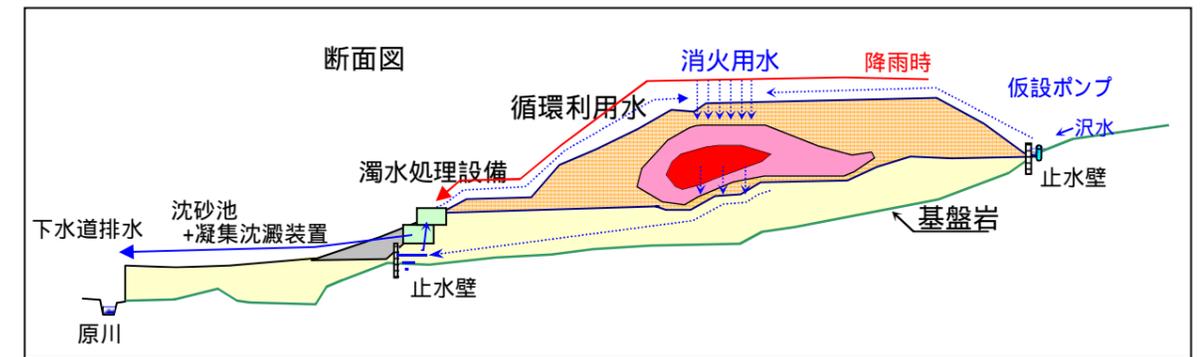


濁水処理設備 濁水処理量 1000 m³/d (125 m³/h :8.0h稼動)
浮遊物質(SS) 流入: 200 mg/l 放流: 10 mg/l
(廃棄物最終処分場の計画・設計容量/全国都市清掃会議編:p371)

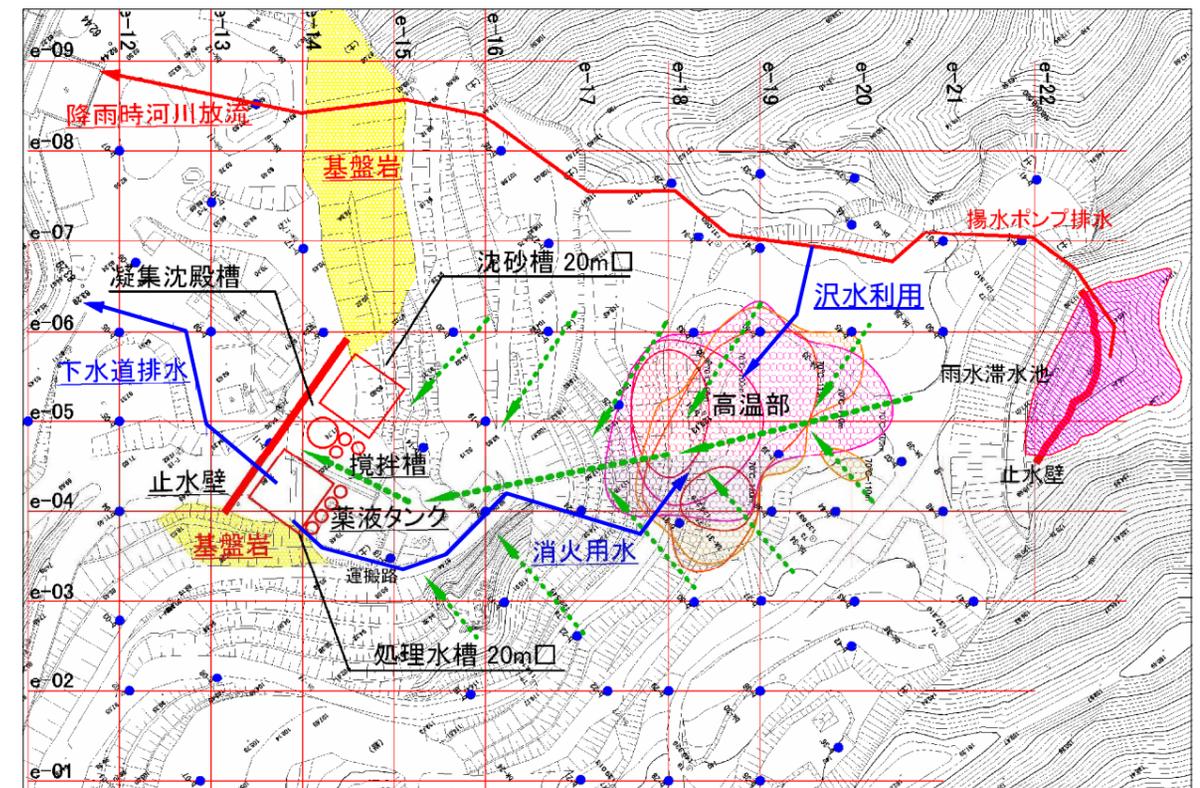
1	沈砂槽/処理水槽	20m x 20m x 2.5mD	= 1000m ³
2	急速攪拌槽	2.5m x 2.5mD	= 12m ³
3	緩速攪拌槽	3.4m x 5mD	= 45m ³
4	沈殿槽	14m x 5mD	= 408m ³
5	脱水ケーキ	汚泥	0.2kg/m ³ × 1000m ³ /d ÷ (2/100) = 10000kg/d
		ケーキ	0.2kg/m ³ × 1000m ³ /d ÷ (20/100) = 1000kg/d
			10m ³ /d
			1m ³ /d



水循環概要図

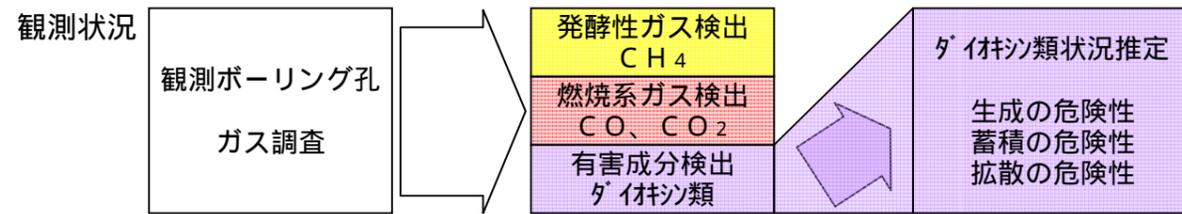


排水流下/機器配置

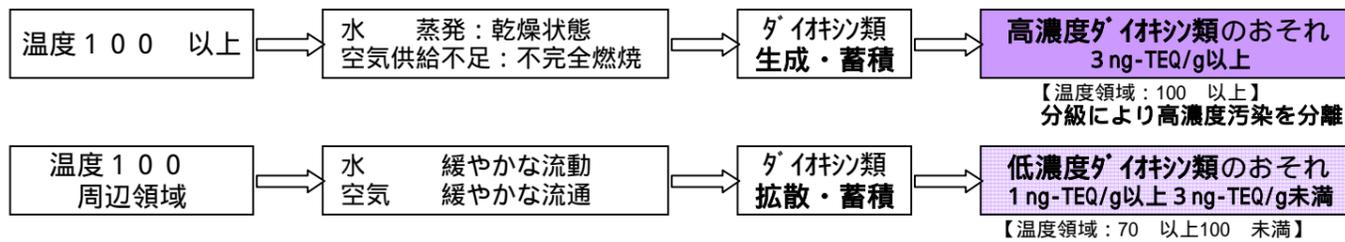


ダイオキシン類の汚染領域の考え方

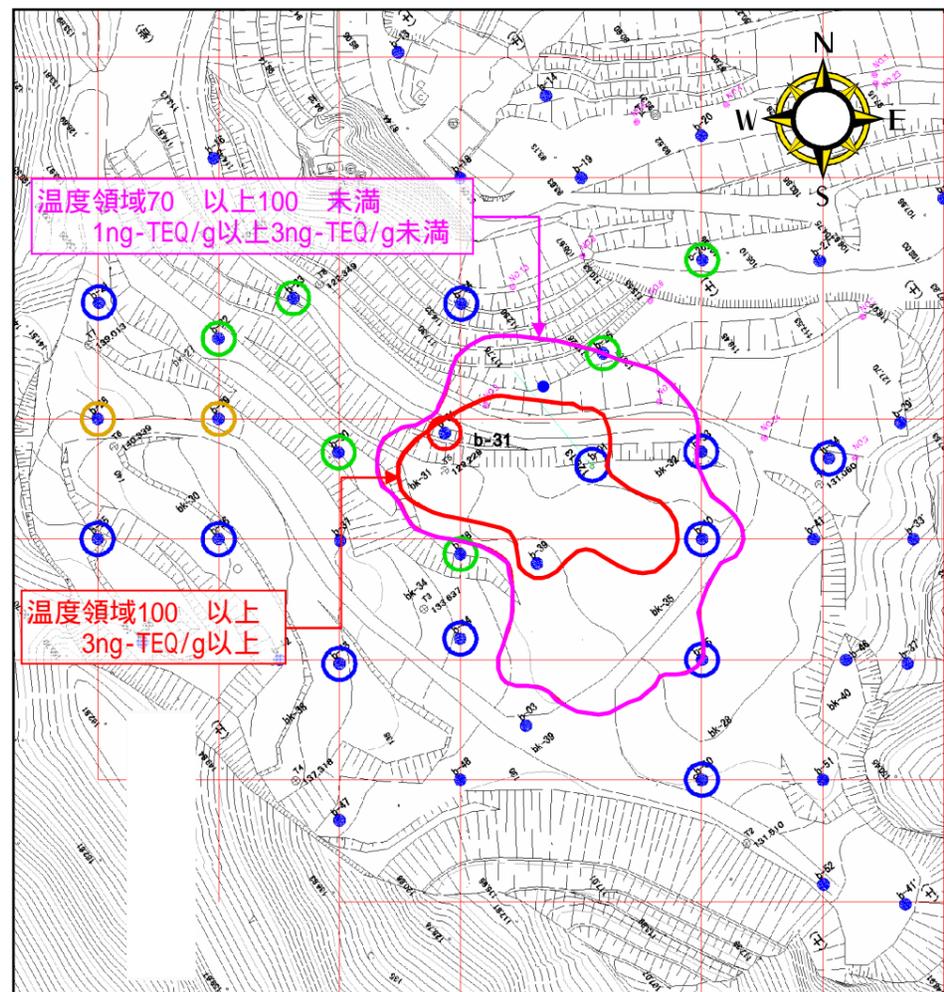
ダイオキシン類汚染領域の推定



分布推定



汚染領域平面図



観測ボーリング孔
ガス調査結果
からの分類

- : 0.001ng-TEQ/m³未満
- : 0.001ng-TEQ/m³以上
- : 0.100ng-TEQ/m³以上
- : 1.000ng-TEQ/m³以上

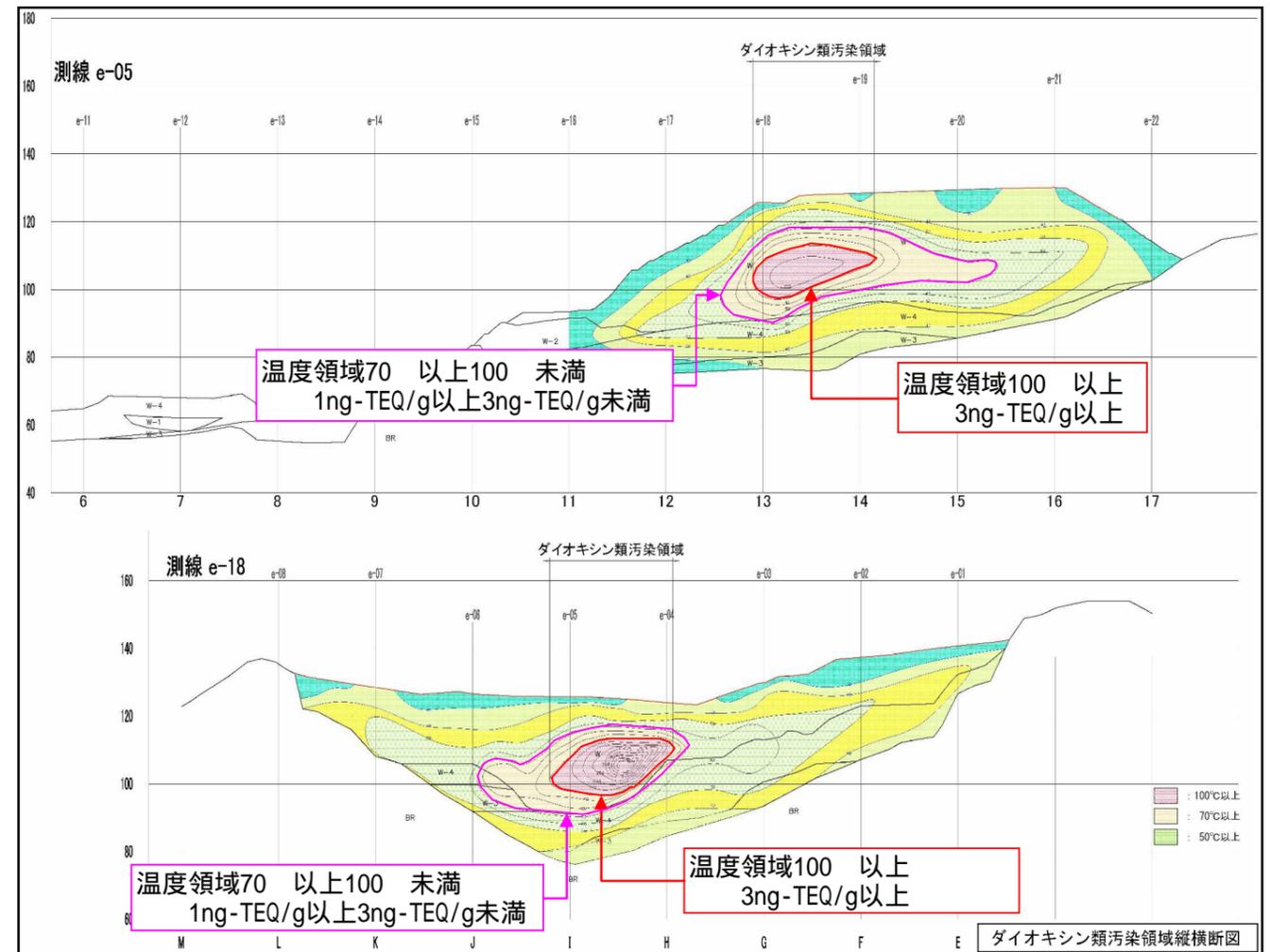
(参考)発生ガス調査結果

調査地点	調査年月	ダイオキシン類		調査地点	調査年月	ダイオキシン類	
		12%換算 ng-TEQ/m ³ N	実測 ng-TEQ/m ³ N			12%換算 ng-TEQ/m ³ N	実測 ng-TEQ/m ³ N
B-01	06.12	0.00095	0.0018	b-33	06.12	0.0000044	0.0000079
b-21	06.12	0.0001	0.00022	b-34	06.12	0.000064	0.00014
b-22	06.12	0.0012	0.00013	b-35	06.12	0.000016	0.0000017
b-23	06.12	0.012	0.0013	b-36	06.12	0.00078	0.0019
b-24	06.12	0.00047	0.000052	b-38	06.12	0.0024	0.0052
b-25	06.12	0.0018	0.0031	b-40	06.12	0.00016	0.000054
b-26	06.12	0.0039	0.00044	b-43	06.12	0.000072	0.00015
b-28	06.12	0.17	0.019	b-44	06.12	0.000017	0.0000018
b-29	06.12	0.18	0.02	b-45	06.12	0.0000011	0.0000025
b-30	06.12	0.064	0.007	b-48	06.12	0.00021	0.00034
b-31	06.09	95	187	b-50	06.12	0.0000022	0.0000047
	06.12	170	280				

TEQ : 毒性の強さを加味したダイオキシン量の単位。
(毒性等量) ダイオキシンは、塩素の数及び位置が異なる異性体の混合物として環境中に存在する。毒性の強さは異性体によって異なるため、ダイオキシン異性体の量を単純に合計しても、その数値で毒性影響を評価することはできない。そこで、ダイオキシンでは、各異性体の量にそれぞれの毒性の強さの係数を乗じた値の総和として表わすのが一般的となっている。

12%換算 : 施設等からの排ガスを清浄な空気中で希釈した場合、排出されるガス濃度も希釈されるので一定酸素濃度を基準に換算して比較するもの。ダイオキシン類対策特別措置法施行規則 第2条では廃棄物焼却炉にあっては12%とされている。

汚染領域断面図



モニタリングの概要

施工時の調査
現地状況を確認し、汚染の範囲と濃度の確認を行う。

工事に必要な**安全性及び施工性を確保するため現場状況の確認**を行う。

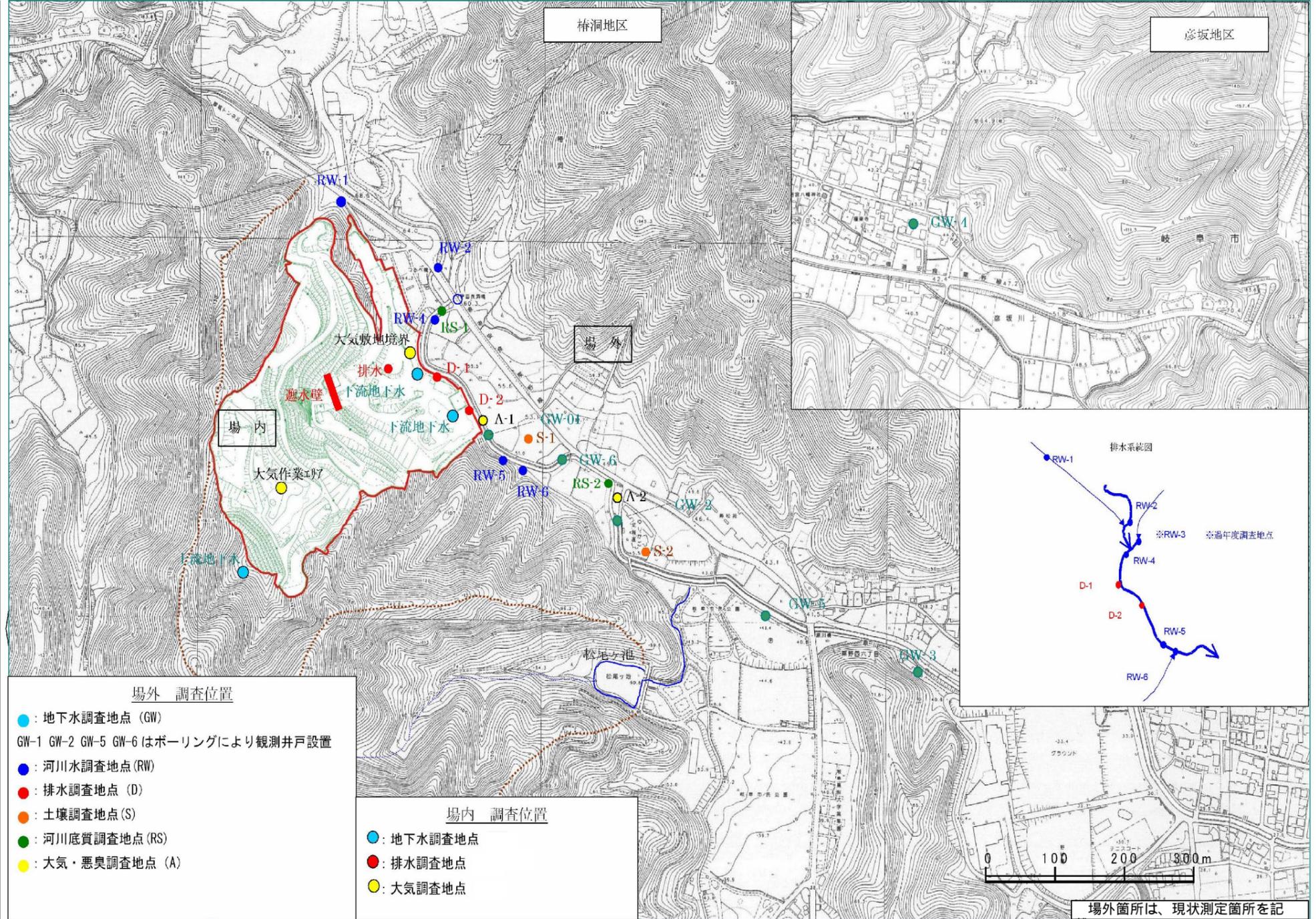
作業環境測定
対策工の実施にあたって、作業員の安全を確保する。

労働安全衛生規則及びその他法令に基づき、規定された項目について、各種測定を実施し**作業環境保全のための監視**を行う。

場内・場外モニタリング
周辺の**生活環境への影響を把握**するため、環境モニタリングを実施し監視を行う。

主な実施のポイント

- ・ 消火作業による周辺地下水、大気環境への影響
- ・ 掘削作業による周辺地下水、大気環境への影響
- ・ 汚染拡散時の緊急対応



調査・測定	施工時の調査	作業環境測定	場内・場外モニタリング											
			場内			場外								
目的	施工に必要な現場状況の確認		作業員の安全確保	各対策工の機能効果の監視			周辺環境への影響を監視							
工程	項目	内容	測定内容	大気	地下水	排水	大気	地下水	河川水	排水	土壌	河川底質	騒音・振動	
準備工	燃焼部の確認	孔内温度調査 孔内ガス調査	温度・燃焼ガスの確認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
対策工	水処理対策工(付帯工)	消火排水 水質調査	浸出水、処理水の水質確認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	消火工	孔内温度調査 孔内ガス調査	高温領域の確認、温度低下の確認	ガス・粉塵等測定	連続測定 定期測定									
廃棄物処理工	掘削	土壌・廃棄物調査	汚染領域の確認	ガス・粉塵等測定										
	選別	粒度、含水状況調査	場外処理による受入基準を確保	ガス・粉塵等測定										
	場外処分	廃棄物調査	廃棄物の汚染濃度分析	-										
	整形・埋め戻し	土壌調査	土壌の分析	ガス・粉塵等測定										
場内整備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
工事完了時	-	-	-	-	完了時測定	-								
工事完了後	-	-	-	-	(定期測定)	定期測定	定期測定	(定期測定)	定期測定	定期測定	(定期測定)	定期測定	-	